



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月2日

上場会社名 株式会社ダイセル  
 コード番号 4202 URL <https://www.daicel.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長

上場取引所 東

(氏名) 小河 義美

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員  
 事業支援本部副本部長(兼)  
 IR広報グループリーダー

(氏名) 廣川 正彦

TEL 03-6711-8121

四半期報告書提出予定日 2022年11月10日

配当支払開始予定日

2022年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	266,232	18.4	26,026	△4.5	30,242	1.4	22,210	0.7
2022年3月期第2四半期	224,817	28.2	27,259	199.3	29,835	193.5	22,046	573.6

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 37,518百万円 (7.5%) 2022年3月期第2四半期 34,891百万円 (351.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	75.08	—
2022年3月期第2四半期	73.15	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	746,243	311,363	40.7	1,025.10
2022年3月期	698,836	279,544	38.9	919.88

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 303,585百万円 2022年3月期 272,017百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	16.00	—	18.00	34.00
2023年3月期	—	18.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	20.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	579,000	23.7	54,000	6.5	59,000	3.0	41,000	31.2	138.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	302,942,682 株	2022年3月期	302,942,682 株
2023年3月期2Q	6,790,356 株	2022年3月期	7,234,296 株
2023年3月期2Q	295,807,413 株	2022年3月期2Q	301,392,123 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大による影響からの持ち直しの動きが続いたものの、中国でのロックダウンや半導体不足などによる自動車減産、ウクライナ情勢も影響した原燃料価格の上昇や世界的なインフレの進行、物流の混乱、為替の円安推移など、先行き不透明な状況のうちに推移しました。

このような環境の中、当社グループでも中国のロックダウンや自動車減産の影響を受け、一部製品の販売数量が減少したものの、需要が伸長する製品については販売機会を着実に捉え販売数量を伸ばすとともに、高騰する原燃料価格や物流費の販売価格への転嫁、徹底したコストダウンを実施してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は2,662億32百万円（前年同期比18.4%増）、営業利益は260億26百万円（同4.5%減）、経常利益は302億42百万円（同1.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は222億10百万円（同0.7%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、当連結会計年度より、各事業が負担すべき費用を負担し、グループ全体の利益への貢献に責任を持って事業運営する体制に移行するため、全社共通費用を全て各事業に配賦する方法に変更しています。前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の配賦方法に基づき組み替えた数値で比較しております。

#### [メディカル・ヘルスケア事業]

コスメ・健康食品事業は、中国のロックダウンの影響により化粧品原料の販売数量が減少したものの、原燃料価格上昇に伴う販売価格の是正や、健康食品素材の販売数量が増加したことなどにより、増収となりました。

ライフサイエンス事業は、キラル関連製品の販売が海外で好調に推移したことや、為替の影響などにより、増収となりました。

当部門の売上高は、108億86百万円（前年同期比13.0%増）、営業利益は、減価償却費の増加などにより、11億5百万円（同20.8%減）となりました。

#### [スマート事業]

液晶表示向けフィルム用の酢酸セルロースや高機能フィルムなどのディスプレイ事業は、高機能フィルムの販売数量が増加したものの、液晶パネルの在庫調整の影響により、酢酸セルロースの販売数量が減少し、減収となりました。

電子材料向け溶剤やレジスト材料などのIC/半導体事業は、液晶パネル材料向けの販売数量が減少したものの、需要が好調に推移した半導体材料向けの販売数量の増加や、原燃料価格上昇に伴う販売価格の上昇などにより、増収となりました。

当部門の売上高は、161億64百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益は、原燃料価格の上昇や研究開発費の増加などにより、3億73百万円（同85.5%減）となりました。

#### [セイフティ事業]

自動車エアバッグ用インフレーター（ガス発生装置）などのモビリティ事業は、半導体不足や中国のロックダウンの影響を受けたものの、自動車生産が徐々に回復し販売数量が増加したことや、為替の影響などにより、増収となりました。

当部門の売上高は、397億45百万円（前年同期比24.6%増）、利益面では、原材料価格や物流費の上昇などにより、営業損失3億64百万円（前年同期は営業利益10億72百万円）となりました。

#### [マテリアル事業]

酢酸は、定期修繕に伴う販売調整や、前期高騰した酢酸市況の軟化により、減収となりました。

酢酸誘導体は、酢酸エチルの販売数量増加などにより、増収となりました。

アセテート・トウは、前年同期の減収要因であった会計基準変更の影響が無くなったことや、一部用途の需要増加などによる販売数量の増加、原燃料価格上昇に伴う販売価格の是正、為替の影響などにより、増収となりました。

カプロラクトン誘導体やエポキシ化合物などは、ポリウレタン向けなどの需要が好調に推移しカプロラクトン誘導体の販売数量が増加したことや、原燃料価格上昇に伴う販売価格の是正、為替の影響などにより、増収となりました。

当部門の売上高は、723億59百万円（前年同期比24.7%増）、営業利益は、販売数量の増加や、為替の影響などにより、103億32百万円（同20.2%増）となりました。

[エンジニアリングプラスチック事業]

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂、液晶ポリマーなどポリプラスチック株式会社の事業は、日系自動車生産の減少予想による自動車部品メーカーの在庫圧縮の影響を受け、新型コロナウイルスの影響からの需要回復で販売数量が急増していた前年同期と比較して販売数量が減少したものの、継続的な販売価格の是正や、為替の影響により、増収となりました。

ABS樹脂、エンプラアロイ樹脂、フィルム、水溶性高分子などダイセルミライズ株式会社の事業は、原燃料価格上昇に伴う販売価格の是正、為替の影響などにより、増収となりました。

当部門の売上高は、1,235億59百万円（前年同期比18.4%増）、営業利益は、販売価格の是正や、為替の影響などにより、144億61百万円（同10.0%増）となりました。

[その他]

その他部門は、防衛関連事業での販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

当部門の売上高は、35億17百万円（前年同期比34.9%減）、営業利益は、1億18百万円（同74.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、現金及び預金等の減少がありましたが、棚卸資産等の増加により、前連結会計年度末に比し474億7百万円増加し、7,462億43百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金等の増加により、前連結会計年度末に比し155億87百万円増加し、4,348億80百万円となりました。

また純資産は、3,113億63百万円となりました。純資産から非支配株主持分を引いた自己資本は、3,035億85百万円となり自己資本比率は40.7%となりました。

② 当期のキャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は855億83百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は77億70百万円（前年同期は、284億11百万円の増加）となりました。資金増加の主な内容は、税金等調整前四半期純利益324億71百万円および減価償却費142億51百万円であり、資金減少の主な内容は、棚卸資産の増減額285億86百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は172億1百万円（前年同期は、212億89百万円の減少）となりました。資金減少の主な内容は、有形固定資産の取得による支出210億15百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の増加は11億56百万円（前年同期は、75億3百万円の減少）となりました。資金増加の主な内容は、短期借入金の純増減額226億4百万円であり、資金減少の主な内容は、長期借入金の返済による支出103億1百万円および社債の償還による支出100億円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向等を踏まえ、2022年5月11日公表の業績予想を修正しております。詳細につきましては、2022年11月2日公表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	88,130	85,774
受取手形及び売掛金	102,562	106,046
有価証券	2,398	1,598
棚卸資産	142,002	176,919
その他	25,186	27,390
貸倒引当金	△32	△59
流動資産合計	360,247	397,670
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	61,408	64,518
機械装置及び運搬具(純額)	71,823	78,254
土地	31,660	32,229
建設仮勘定	60,279	65,282
その他(純額)	4,671	4,986
有形固定資産合計	229,843	245,270
無形固定資産		
のれん	363	398
その他	9,702	10,264
無形固定資産合計	10,066	10,662
投資その他の資産		
投資有価証券	73,246	65,152
繰延税金資産	2,474	2,723
退職給付に係る資産	8,686	9,470
その他	14,314	15,333
貸倒引当金	△42	△40
投資その他の資産合計	98,679	92,639
固定資産合計	338,589	348,573
資産合計	698,836	746,243

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	61,888	66,071
短期借入金	22,198	45,263
1年内償還予定の社債	10,003	10,003
1年内返済予定の長期借入金	12,272	6,891
未払法人税等	5,529	6,884
修繕引当金	—	1,363
環境対策引当金	14	14
資産除去債務	194	161
その他	41,797	43,952
流動負債合計	153,898	180,605
固定負債		
社債	130,000	120,000
長期借入金	106,029	107,752
繰延税金負債	16,311	16,146
役員退職慰労引当金	89	69
修繕引当金	1,052	641
環境対策引当金	125	124
退職給付に係る負債	6,623	4,522
資産除去債務	1,255	1,263
その他	3,906	3,754
固定負債合計	265,394	254,274
負債合計	419,292	434,880
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	36,275	36,275
資本剰余金	14	6
利益剰余金	174,500	191,388
自己株式	△6,090	△5,715
株主資本合計	204,699	221,954
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,813	31,580
繰延ヘッジ損益	27	43
為替換算調整勘定	25,966	44,052
退職給付に係る調整累計額	4,509	5,954
その他の包括利益累計額合計	67,317	81,631
非支配株主持分	7,526	7,778
純資産合計	279,544	311,363
負債純資産合計	698,836	746,243

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	224,817	266,232
売上原価	154,883	190,145
売上総利益	69,934	76,087
販売費及び一般管理費	42,674	50,061
営業利益	27,259	26,026
営業外収益		
受取利息	108	190
受取配当金	1,008	884
持分法による投資利益	964	1,183
為替差益	451	2,293
その他	1,018	705
営業外収益合計	3,550	5,258
営業外費用		
支払利息	682	667
その他	292	374
営業外費用合計	975	1,042
経常利益	29,835	30,242
特別利益		
固定資産処分益	140	14
投資有価証券売却益	—	3,354
特別利益合計	140	3,369
特別損失		
固定資産除却損	383	421
事業整理損	—	719
特別損失合計	383	1,141
税金等調整前四半期純利益	29,592	32,471
法人税、住民税及び事業税	6,624	8,565
法人税等調整額	681	1,106
法人税等合計	7,305	9,671
四半期純利益	22,287	22,799
非支配株主に帰属する四半期純利益	240	588
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,046	22,210

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	22,287	22,799
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,462	△5,234
繰延ヘッジ損益	25	15
為替換算調整勘定	1,217	17,885
退職給付に係る調整額	△182	1,448
持分法適用会社に対する持分相当額	80	604
その他の包括利益合計	12,603	14,719
四半期包括利益	34,891	37,518
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,476	36,524
非支配株主に係る四半期包括利益	414	994

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	29,592	32,471
減価償却費	12,934	14,251
のれん償却額	372	29
受取利息及び受取配当金	△1,116	△1,075
支払利息	682	667
持分法による投資損益 (△は益)	△964	△1,183
固定資産除売却損益 (△は益)	242	406
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△3,354
売上債権の増減額 (△は増加)	6,205	3,097
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△14,042	△28,586
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,552	△925
その他	△6,852	△1,781
小計	32,605	14,016
利息及び配当金の受取額	1,121	1,081
利息の支払額	△688	△802
法人税等の支払額	△4,627	△6,524
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,411	7,770
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△82	△36
有形固定資産の取得による支出	△19,269	△21,015
有形固定資産の売却による収入	651	225
無形固定資産の取得による支出	△2,409	△959
投資有価証券の取得による支出	△102	△54
投資有価証券の売却及び償還による収入	721	4,949
貸付けによる支出	△91	△71
貸付金の回収による収入	41	312
その他	△750	△550
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,289	△17,201
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	882	22,604
長期借入れによる収入	19	5,419
長期借入金の返済による支出	△2,027	△10,301
社債の償還による支出	—	△10,000
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△4,819	△5,321
非支配株主への配当金の支払額	△1,008	△742
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△150	—
リース負債の返済による支出	△398	△501
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,503	1,156
現金及び現金同等物に係る換算差額	463	5,871
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	81	△2,403
現金及び現金同等物の期首残高	90,747	87,986
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	89	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	90,918	85,583

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディカ ル・ヘルス ケア	スマート	セイフティ	マテリアル	エンジニア リングプラ スチック	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	9,634	15,445	31,897	58,049	104,391	219,418	5,399	224,817	—	224,817
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	282	230	527	9,374	155	10,569	6,038	16,607	△16,607	—
計	9,916	15,675	32,424	67,424	104,547	229,988	11,437	241,425	△16,607	224,817
セグメント利益	1,395	2,576	1,072	8,599	13,152	26,797	461	27,259	—	27,259

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業および運輸倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日至2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディカ ル・ヘルス ケア	スマート	セイフティ	マテリアル	エンジニア リングプラ スチック	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	10,886	16,164	39,745	72,359	123,559	262,715	3,517	266,232	—	266,232
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	103	74	—	7,397	157	7,732	6,200	13,933	△13,933	—
計	10,989	16,238	39,745	79,756	123,717	270,448	9,718	280,166	△13,933	266,232
セグメント利益 又は損失(△)	1,105	373	△364	10,332	14,461	25,907	118	26,026	—	26,026

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業および運輸倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に評価管理するため、全社共通費用の配賦方法を見直し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。